

洋上アルプス

平成15年12月5日
林野庁 屋久島森林環境保全センター発行
鹿児島県熊毛郡上屋久町宮之浦 1577-1
NO. 105 TEL 0997-42-0331 FAX 0997-42-0333

屋久島生態系モニタリング

愛子岳東側斜面の植生調査 平成13年度調査

・標高1,000m地点
プロットは、愛子岳登山道に接する地点に設け、北西方向にセンターラインを設定。平均傾斜は26度である。母岩は花崗岩であるが、露岩はほとんどなく、適湿な黄色系褐色森林土壌である。プロットの階層区分状況は、高木層では、優占種ヤマグルマ、樹高6~15m、植被率40%、亜高木層では、優占種サクラツツジ、樹高3~6m、植被率50%、低木層では、優占種イヌガシ、樹高1~3m、植被率80%、林床層では、優占種ハイノキ、樹高1m未満、植被率50%となっている。

この林分は、ヤマグルマからハイノキ群集であり、ヤマグルマの他にはヤマボウシ・アカガシ・ウラジロガシなどの高木、ヒメヒサカキの亜高木が出現する。林床には、ヒメシヤラの稚樹が多い。高木にはホソバコケシノブ・ノキシノブやナナカマドが着生しているものがあり、イワガラミ・コケ植物も多く、湿潤な環境であることを示している。

月間最多入場者数更新
ヤクスギランドで十一月の入園者数が過去最高の一四、七四六人となりました。平成十五年三月に記録した一三、一九〇人を上回る入場者数で、理由として、白谷雲水峡への県道の二週間の通行止め、大型客船の来港などが考えられます。今年度に入り、月間入園者は平均一、〇〇〇人で推移し、屋久島の人気の高さが感じられます。また、十三年九月の集中豪

ヤクタネゴヨウは、世界自然遺産地域に指定されている屋久島と種子島のみで自生する希少な日本固有の針葉樹であり、環境省レッドデータブックの絶滅危惧IB類(EN)に指定されています。また、自生地が限られていると考えられ、台風等による風倒やマツノザイセンチュウの被害等により、個体数は急激に減少しています。このため、九州森林管理局では(株)ゴルフファアの緑化推進協力会の協力を得て

ヤクタネゴヨウの増殖・復元緊急対策事業を平成十二年度から五カ年計画で実施しており、今年度は屋久島(屋久町船行)に約一・五ha、種子島(西之表市大林)に約一haの採種林及び見本林を来年二月初旬に造成することになりました。植栽するのは、自生地から接ぎ穂を採取し、ストロークロマツの台木を用いた接ぎ木苗です。植樹の一部をイベント方式で行う予定にしてい

ヤクタネゴヨウ採種・見本林とヤクスギ著名名木展示林造成
屋久島と種子島にのみ自生する絶滅危惧種ヤクタネゴヨウの採種・見本林と樹齢数千年の縄文杉などヤクスギ著名名木の展示林を造成します

ます。詳細が決まり次第お知らせしますので皆様の参加をお待ちしています。
また、九州森林管理局は林木育種センター九州育種場と連携し、農林水産省ジーンバンク事業の一環として、平成七年度から縄文杉をはじめとするヤクスギ著名名木二十六個体の遺伝資源を収集しその増殖に取り組んでいます。そうして増殖させ、育てた苗木が順次「山出し」の時期を迎えるため、屋久島内の旧小杉谷製品事業所付近に、「著名屋久杉遺伝子保存展示林」(仮称)を平成十六年四月中旬頃設定することになりました。展示林の造成(植樹)にあたっては、地域住民等へPRを行い、住民参加の森づくりと

屋久島の植物



リュウキュウアオキ
あかね科

種子・屋久を分布の北限とする常緑低木。
高さは二〜三mほどで、海岸近くの林内に普通に見られ、長楕円形の葉が枝先に四方に広がってつく。十〜十二月に直径五mmほどの果実を付け、緑色から黄色、赤色へと熟す。別名ボチヨウジ。

国有林内で不法投棄

十一月二十六日、上屋久町の国有林内でゴミの不法投棄が見つかりました。布団類など二トトラック分ほどの生活粗大ゴミが捨てられており、すぐに警察と町に連絡を入れ捜査を依頼しました。
生活ゴミや産業廃棄物の林野への投棄は、環境を著しく破壊するだけでなく、景観を損ない、山林火災等につながるかねません。当センターとしては、今後も巡視を強化し、厳しく対処していきます。皆様も山林内で不法投棄を見かけた際には屋久島森林管理局(四六一二一一)へご連絡をお願いします。

お知らせ

平成十四年度「年報」が完成しました。当センターの概要や業務内容、関係行事などを掲載しています。関係機関や研究者の方に配布いたします。



洋上アルプス「屋久島の植物」掲載（1～50号）

洋上アルプスで毎号紹介している屋久島の植物を一覧表にしました。今月は1～50号まで、来月は51～100号まで掲載します。皆さんはいくつご存じですか？

No.	和名	科名	備考
1	サクラツツジ	つつじ	南九州南部以南に分布する常緑低木
2	リンゴツバキ	つばき	本州以南に分布しているヤブツバキの1品種
3	ヤクシマシャクナゲ	つつじ	屋久島に自生する固有変種
4	サツキ	つつじ	県下では屋久島だけに自生する
5	ヤクシマアジサイ	ゆきのした	屋久島を分布の北限とする低木
6	ハマボウ	あおい	関東以西に分布
7	ウラジロフジウツギ	ふじうつぎ	鹿児島県の長崎鼻、佐多、甕島と屋久島以南に分布
8	エゴノキ	えごのき	全国に分布
9	イイギリ	いいぎり	本州以南に分布
10	センリョウ	せんりょう	房総半島以西
11	シキミ	もくれん	関東以西に分布
12	ウリハダカエデ	かえで	全国に分布
13	シャシャンボ	つつじ	本州以南に分布
14	ヤクシマオナガカエデ	かえで	屋久島固有の落葉高木
15	ハマクサギ	くまつづら	近畿南部以西に分布 落葉低木で海岸林の中に多い
16	マルバニッケイ	くすのき	鹿児島県南部以南に分布するほか、男女群島、福岡県大島と九州西岸にとびとびに出現
17	ハドノキ	いらくさ	近畿以西に分布
18	タンナサワフタギ	はいのき	東北以西に分布
19	サクララン	ががいも	九州本土南部以南に分布 別名ツバキラン
20	ナナカマド	ばら	全国に分布
21	カンツツブキ	きく	種子島、屋久島の固有種 ツツブキとの違いは二重鋸歯であること
22	ヒメシャラ	つばき	関東以西に分布 樹皮はうすい黄赤色でとても美しい
23	フカノキ	うこぎ	大隅半島以南に分布
24	イスノキ	まんさく	全国に分布
25	アセビ	つつじ	屋久島が分布の南限
26	コガクウツギ	ゆきのした	伊豆諸島以南に分布する落葉低木
27	ヤマグルマ	やまぐるま	山形県以南に分布
28	ヤマボウシ	みずき	本州以南に分布し、屋久島を南限
29	ノリウツギ	ゆきのした	屋久島が分布の南限である落葉低木
30	ヤクシマサルスベリ	みそはぎ	種子、屋久の固有種
31	カラスザンショウ	みかん	本州以南に分布
32	サザンカ	つばき	本州(山口県)、四国、九州、琉球に分布
33	ヒロハノミズバイ	はいのき	九州の一部と種子、屋久以南に分布
34	リュウキュウリミノキ	あかね	屋久島付近を分布の北限
35	オガタマノキ	もくれん	関東南部以南に分布
36	イヌガシ	くすのき	全国に分布
37	ナンバンキブシ	きぶし	山口県以南に分布 葉はキブシに比べてはるかに大きい
38	クロバイ	はいのき	千葉県以南に分布する常緑高木
39	オオムラサキシキブ	くまつづら	本州西南部以南に分布 ムラサキシキブの葉が大きくなったタイプ
40	ホルトノキ	ほるとのき	千葉県南部以西に分布
41	タラノキ	うこぎ	全国に分布
42	ハシカンボク	のぼたん	屋久島が分布の北限である常緑低木
43	ハリギリ	うこぎ	全国に分布
44	サキシマフヨウ	あおい	九州南部以南に分布する落葉低木
45	ヤツデ	うこぎ	茨城県以南、四国、九州に分布
46	ヤマハンショウズル	きんぼうげ	鹿児島県北部と種子、屋久に分布
47	ナンゴクウラシマソウ	さといも	本州西部以南に分布 屋久島では海岸林の中に多い
48	オオゴカヨウオウレン	きんぼうげ	屋久島の固有種 標高600m以上で年中見られる
49	アオモジ	くすのき	本州中部以南
50	シャリンバイ	ばら	本州以南に分布